

女性診療科・産科

総合周産期母子医療センターのご案内

当院は、総合周産期母子医療センターに指定されている、産科医療補償制度加入施設です。合併症のない女性はもちろん、不育症（習慣流産）や前置胎盤などのハイリスク妊娠の方や、新生児外科手術の対象となる胎児疾患の方も、安心してお産ができる病院です。産科、小児科、麻酔科などの密接な協力のもと、お産の前後で児に対する連続した管理が科の垣根を越えてスムーズにできるようになっています。

また、全ての診療科がそろった大学病院ですので、心臓疾患や腎臓疾患、血液疾患などの合併症を持っている方のお産にも十分対応できます。

さらに、当院では、妊娠中から産後まで継続した助産師ケアを提供しています。お産にバースプランを積極的に取り入れており、助産師主体の母親学級や母乳育児クラスなどのクラスを開設しています。



施設のご案内

✿産科病棟の入口



産科/総合周産期母子医療センターは母児同室を推進しています。入院棟の入口を常時ロックし、カードキーがないと入れないようにして、セキュリティを確保しています。

✿産科病棟の廊下



✿個室



✿新生児預かり室



原則は母児同室ですが、
帝王切開直後や、
母体が安静を要する場合などは、
一時的に新生児をお預かりいたします。



✿授乳室・沐浴槽（新生児預かり室内）



初産婦さんに対して集団沐浴指導を行っています。

✿MFICU



母体・胎児集中治療室(MFICU)は、母体や胎児のリスクが高い方の集中ケアを行う施設です。

❖周産母子診療部入口



お産のときは、
周産母子診療部に入院します。
産科病棟と直結しています。



❖陣痛室



陣痛室は4室あります。
全て個室であり、お産の際には、他の人に気兼ねなく、
家族が付き添うことが可能です。



❁分娩室



分娩室は4室あります。
同時に多数の分娩に対応ができます。
また、分娩監視装置はもちろんのこと、
母体生体監視装置もすべての分娩室に完備しており、
重症のハイリスク分娩にも対応可能です。



❁院内助産のお部屋



2015年に完成した院内助産用の陣痛分娩室です。
フリースタイル分娩にも対応しています。
院内助産では助産師が主体的に関わり、産婦が安心・満足できる出産につなげています。

❁お産直後の赤ちゃんとの面会



出産後

ママが処置や着替えをしている間に、隣の部屋でご家族の立合いのもと、
児の計測を行います。



帝王切開でご出産の場合、
児の状態に応じて
手術室でママとの面会が可能です。



当院で妊婦健診を受けられる方、ご出産される方にお渡ししているもの

❁ママノート

妊娠中からお産後まで
ママたちのセルフケア能力を高めるために、
当科独自のママノートを活用しています。
ママたちには妊娠からお産を通して、
“わたしだけのママノート”をつくってもらっています。



❁お産バック



入院時に病院からお渡ししている
お産用品です。